

◆資料③

防災リテラシー評価表

はい	いいえ	番号	評価内容
		1	学校の所在地が地震による津波や山・崖崩れの予想される地域にあるかどうか知っていますか。
		2	津波や山・崖崩れの予想される地域にある場合、避難指示等が発せられるとすぐ避難しなければなりません、避難する場所や経路を決めていますか。
		3	避難が必要になったとき、学校の重要書類や生徒名簿はすぐに持ち出せるようになっていませんか。
		4	非常時における教職員の役割を明確にし、指導を徹底していますか。
		5	避難場所となっている学校では、避難者の使用場所や留意事項が教職員に周知されていますか。
		6	児童生徒や教職員への非常時の情報伝達方法(緊急連絡網の作成など)、その広報内容(連絡文)について準備していますか。
		7	保護者に対して、児童生徒の引渡し方法などについてふだんから周知徹底してありますか。
		8	非常時に情報を知るテレビ、ラジオ、防災無線受信機などを備えていますか。
		9	校舎、体育館、屋内施設やブロック塀などの耐震診断の結果を知っていますか。
		10	必要な建物、体育館などの補強は済んでいますか。
		11	事務機、ロッカー、書棚、薬品棚、ピアノ、コンピュータ、テレビなどの転倒、移動、落下防止の措置をしてありますか。
		12	窓ガラスなどの飛散防止対策(フィルムを張るなど)をしてありますか。
		13	避難の際に妨げとなる、廊下、階段、非常口などの障害物の除去をしてありますか。
		14	危険物施設(ボイラー、ガスボンベ、薬品庫など)の整備、点検を定期的実施していますか。
		15	防災用資機材の準備・点検ができていますか。
		16	避難誘導や初期消火などの訓練をふだんから実施していますか。
		17	校内での防災訓練(避難経路確認・消火・下校訓練など)を実施していますか。
		18	地域での自主防災組織の訓練(9月1日や12月の第1日曜日)に児童生徒を参加させていますか。
		19	市町村役場の防災担当者と定期的に、連絡打ち合わせ会議などを行っていますか。
		20	地元の自主防災組織などと、非常時の協力や応援などについて話し合いを行っていますか。
		21	避難所となっている学校では、非常時の住民の受入れ方法などについて市町村や自主防災組織の代表と協議をしていますか。
		22	遠距離通学などのために残留する児童生徒や、防災担当職員のための非常時における食糧(7日分程度)、飲料水(3日分程度)、毛布などを確保していますか。
		23	教育計画には地震防災の教育活動が組み込まれていますか。

(参考)防災教育のための参考資料「生きる力」をはぐくむ防災教育の展開(文部科学省)